

第43回 熱シンポジウム『居住環境における寒さと健康・快適』

主催：日本建築学会 環境工学委員会 熱環境運営委員会

日程：2013年10月4日(金)13:30～17:30、17:30頃～懇親会

10月5日(土) 9:30～16:00

会場：産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館 11F 会議室(東京都江東区青海 2-4-7)

新交通ゆりかもめ「テレコムセンター駅」下車徒歩約5分

東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」下車徒歩約15分またはバス

都バス 「テレコムセンター駅前」下車徒歩約5分

<http://unit.aist.go.jp/waterfront/access/index.html>

住宅はシェルターの役割だけでなく、生活者が安心して快適な生活を営める場であり、健康を維持していくことができる空間を提供することが期待されています。昨今、高断熱高気密住宅の普及だけでなく、内窓の設置や断熱改修など、既設住宅における室内温熱環境の改善に取り組まれるようになってきました。また、室内温熱環境が、居住者の暑さ寒さや快適性、生活行動に及ぼす影響について報告され、健康へ及ぼす影響について取り組んだ先進的な研究がみられます。

今年度の本シンポジウムでは、冬季における暖房環境、室温温度差や寒さ等が人体へ及ぼす影響、つまり、住宅の温熱環境と人の健康・安全・快適性との関わりについて、最新の研究成果が発表されます。さらに、意見交換等を行って、今後目指す方向について議論を深める機会とします。

プログラム(発表タイトルには仮題を含む)

10月4日(金)

13:30～13:40 開会挨拶・主旨説明

開会挨拶 須永修通(首都大学東京)

主旨説明 都築和代(産業技術総合研究所)

13:40～15:25 セッション 1: 寒さと温熱快適域

(司会：後藤伴延／東北大学)

●温熱快適域の現状

中野淳太(東海大学)

●既存の温熱快適域の水準

長野和雄(奈良女子大学)

●これからの温熱快適域のフレームワークについて

兼子朋也(関東学院大学)

●オフィスにおける次世代型温熱快適域

高田暁(神戸大学)

●住宅における許容域と日射の人体影響

桑原浩平(釧路工業高等専門学校)

●頸髄損傷者の至適温熱環境条件

三上功生(日本大学)

質疑応答

15:35～16:30 セッション2: 住宅政策の現状と健康影響評価の取り組み

(司会：土川忠浩／兵庫県立大学)

●住宅省エネ基準における一次エネルギーと断熱性能の評価

三浦尚志(国土技術政策総合研究所)

- 健康維持増進に向けた住環境評価
伊香賀俊治(慶応義塾大学)

質疑応答

16:30~17:30

セッション3:講演1

(司会:田辺新一/早稲田大学)

- 健康長寿を実現する住まいとコミュニティの創造
星 旦二(首都大学東京)

質疑応答

17:30頃~

懇親会

10月5日(土)

9:30~10:45

セッション4:多様な温熱環境の健康影響

(司会:松原斎樹/京都府立大学)

- 寒さと着衣形状の効果
宮本征一(摂南大学)

- 炬燵の温熱効果
渡邊慎一(大同大学)

- 入浴の効果と健康影響
河原ゆう子(東邦ガス)

- 内窓断熱と脱衣室暖房の健康影響
都築和代(産業技術総合研究所)

質疑応答

10:55~11:55

セッション5:講演2

(司会:都築和代/産業技術総合研究所)

- 温熱環境改善と高齢者の健康
高橋龍太郎(東京都健康長寿医療センター研究所)

質疑応答

13:00~14:15

セッション6 住宅の室内温熱環境と健康

(司会:久野覚/名古屋大学)

- 統計データから導く健康と安全を支える住環境
羽山広文(北海道大学)

- 住宅断熱性の健康改善効果に関する大規模アンケート調査
岩前篤(近畿大学)

- 住宅の温熱環境と健康に関する事例調査
長谷川兼一(秋田県立大学)

質疑応答

14:20~15:50

セッション7 総合討論(司会:田辺新一/早稲田大学)

15:50~16:00

閉会挨拶(司会:山岸明浩/信州大学)

参加費:会員 5,000 円、会員外 7,000 円、学生 2,000 円(資料代含む、当日会場でお支払いください)

定員: 120 名(申し込み先着順)

申込方法:Web 申し込み <https://www.ajj.or.jp/index/?se=sho&id=561> よりお申し込みください。

(懇親会の詳細については、シンポジウム申し込み者に別途ご案内いたします)

申込問合せ:日本建築学会事務局 研究事業グループ 榎本

TEL03-3456-2051 E-mail:enomoto@ajj.or.jp